

2025年度後期「企画に対する学生評価」

科目全体の講義企画に対する学生評価

あなたの履修態度・理解度について	問1 事前に教科書や講義資料を読むなど予習をしましたか。
	問2 この科目はどのくらい理解できましたか？
	問3 授業の復習を毎回しましたか。
目的の達成	問4 科目の一般目標を達成することができましたか。
科目内容	問5 あなたにとって科目全体の難易度は適切でしたか。
総合評価	問6 この科目は全体として満足できるものでしたか。

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：医学英語 I A

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：97 配付数：90 回収数：89 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
4.0	4.0	2.8	3.7	3.8	4.0

*評価に対するコメント

医学英語 I A 担当教員

この授業の主な目的は、読解演習を通して英語の基礎力を身につけることです。今年度は新たな取り組みとして、映画を視聴することにより会話の英語に慣れること、そして患者に寄り添う気持ちを涵養することを目指しました。また、AI を活用して英語の文章を作成する基礎も学びました。この授業で学んだ内容を将来的に何らかの形で役立ててくれたら嬉しく思います。

科目名：医学英語 I B

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：94 配付数：91 回収数：91 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.7	4.1	2.7	4.0	4.1	4.2

*評価に対するコメント

医学英語 I B 担当教員

This year's first-year medical students performed well above average during the 2025-2026 school year. They were highly motivated and worked very hard throughout the course. The students showed a strong desire to learn and consistently put significant effort into their studies. They performed especially well in speaking activities and worked effectively in group tasks. I hope they will continue to use these skills and make meaningful contributions to healthcare in Japan and internationally.

科目名：医用物理学

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：96 配付数：96 回収数：94 回収率：97.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.5	2.6	3.6	3.5	3.6

*評価に対するコメント

医用物理学担当教員

問6の総合評価は3.6で近年の傾向(4.0±0.2で推移)に比べ下がった。問1と3の予・復習の評価は過去最低だった。予・復習の評価と総合評価に強い正の相関が見られるのが従来の傾向だ。欠席率の平均は、秀・優の成績の学生で1%以下、良で3%、可で7%だった。僅差に見えるが予・復習をしない点を考慮すると、理解度の差(成績の差)に繋がることも頷ける。逆に言えば、積極的な講義への参加が、理解度、及び満足度を高めると推察される。学生には、講義への参加について、今一度考えて欲しい。

科目名：基礎化学

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：96 配付数：93 回収数：92 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	3.3	2.6	3.4	3.5	3.7

*評価に対するコメント

基礎化学担当教員

基礎化学では医学科2年生で学ぶ生化学I等の科目につながる基本的内容や、臨床検査の測定原理と関係する内容を講義しています。講義内容の理解とするために、数回レポート課題を出し、練習問題も掲載（解答例も掲載）、定期試験は4回実施しました。また、11月に医学科1年生のほぼ全員の方と面談し、前期の2回の試験の答案の採点状況の確認、日々の学習と学生生活の状況について確認し、自分の学習状況とモチベーションの確認の機会としていただきました。基礎化学の評価では予習と復習の評価が低かったので、来年度からレポート課題を充実させて復習の機会を積極的に提供してゆきます。一方でmanabaに掲載した講義資料を複数回にわたって未閲覧の方、欠席しても欠席届を出していない方が多数いらっしゃいました。上の学年では態度として評価されますので注意してください。

科目名：発生遺伝学

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：96 配付数：93 回収数：93 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.5	3.4	2.8	3.5	3.6	3.9

*評価に対するコメント

発生遺伝学担当教員

本年度の発生遺伝学の総評価（問6）は前年度と同じでしたが、問1「事前に教科書や講義資料を読むなど予習をしましたか。」については昨年度よりも大きく低下しました（マイナス0.4ポイント）。当科目は遺伝学・発生学の基礎的な内容だけでなくヒトを対象とした専門的な内容を多く含むので、入学初年度の学生の中には学修のモチベーションが高い学生だけでなく、学修のやりづらさを感じている学生も多くいると感じます。今後は、学生がより興味をもつような知見のアップデートをはかりつつ、当科目の予習・復習を積極的に促しながら、いかにわかりやすく解説するかを心がけようと思います。

科目名：データサイエンス

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：98 配付数：96 回収数：96 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.3	2.7	2.4	2.7	2.6	2.7

*評価に対するコメント

データサイエンス担当教員

今年度は期末試験を実施することもあり、全体的に低評価でした。予習、復習をしない人がかなり多かったようですが、これでは期末試験を乗り切るのは厳しいと思います。また医学統計の初歩的な内容をいくつか紹介しましたが、時間的に余裕がなく少し早足になってしまったかもしれません。しかし、将来的に理解する必要があるものばかりですので、今は難しく感じるかもしれませんが、マスターしましょう。

科目名：医療概論 I

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：96 配付数：91 回収数：90 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.7	3.5	2.6	3.5	3.6	3.7

*評価に対するコメント

医療概論 I 担当教員

授業満足度に対する設問 6 に対し、3.7 という評点を得た。5 をつけてくれた学生も多く、アンケートからも内容につき高い評価を書いてくれる学生もいたことから、授業の内容については一定の評価を得ているものと考えます。予習復習に関しては改善が必要ですが、シラバスにある参考図書を授業前に読んでおくことや、授業後に読むことで思考を深めることができるため、学生諸君に是非お勧めしたい。

科目名：症候学

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：96 配付数：95 回収数：93 回収率：97.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.8	3.8	3.1	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

症候学担当教員

一年生に対する臨床授業であるが、難易度も概ね適切と判断され、科目としての満足度も4.1点と高く、こちらの意図した教育効果が期待できると考えられる。双方向性の授業であり、今後もこの形式で授業を継続したい。

科目名：医学英語ⅡA

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：97 配付数：95 回収数：94 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.0	3.9	3.0	3.9	3.8	4.0

*評価に対するコメント

医学英語ⅡA担当教員

医学英語の読解力を培うとともに、医学英語論文の構成に基づく読解ができるようになることを意図していました。授業の意図を汲み、毎回の授業課題にしっかり取り組んでくれたという印象を持っています。非常に的確な解答を記述できる優秀な学生が多い学年だと思います。将来に期待しています。

科目名：医学英語ⅡB

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：95 回収率：99.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	4.2	3.1	4.2	4.2	4.5

*評価に対するコメント

医学英語ⅡB担当教員

The second-year medical students worked extremely hard throughout the 2025-2026 school year. They demonstrated a strong command of English, and their ability to communicate with both me and their classmates was impressive. As international conferences and professional exchanges continue to increase, doctors will need strong English-communication skills. The second-year students already have a solid foundation, and I hope they will continue to study diligently and further improve their English abilities.

科目名：機能形態基礎医学Ⅱ

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：97 配付数：95 回収数：94 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.6	3.2	3.6	3.5	3.8

*評価に対するコメント

機能形態基礎医学Ⅱ担当教員

この科目は学習範囲が非常に広く、6単位の大型科目となっていますので、評価は中間試験、後期試験の2回の試験で行います。今年度は出席率もよく、受講態度もよかったように感じましたが、科目の満足度が昨年度と比較して下がっており（4.0→3.8）、今後さらに学生の理解度を上げる努力が必要と感じました。

科目名：微生物学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：87 回収数：78 回収率：89.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.7	3.0	3.7	3.8	3.9

*評価に対するコメント

微生物学担当教員

微生物学講義は、細菌やウイルスを中心とした微生物の性状とヒトにおける感染病態、さらには検査法や治療法など幅広い分野を対象としています。初めて学ぶことが多く最初は暗記に頼らざるを得ない部分がありますが、遺伝学や生化学、免疫学などをきちんと習得していれば理解も容易になります。講義をきちんと受講するのはもちろんのこと、予習や復習をするとさらに理解が深まりますので、学生の向上心に期待しております。

科目名：寄生虫学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：95 回収数：90 回収率：94.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	4.0	3.5	4.0	4.0	4.2

*評価に対するコメント

寄生虫学担当教員

寄生虫学では、中間宿主・終宿主・媒介生物など、多様な生物が関わる複雑な相互関係を学ぶ必要があります。そのため、文章だけでは理解が難しい部分については、イラストや寄生虫の実物標本を積極的に活用して講義を行っています。また、動画教材も多用し、内容の理解をより一層深められるよう努めています。科目全体の満足度は4.2でした。今後も、学生の知的好奇心や学習意欲を高められる講義を目指していきたいと考えています。

科目名：薬理学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：95 回収数：87 回収率：91.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.7	3.3	3.7	3.7	4.0

*評価に対するコメント

薬理学担当教員

薬物が体内ではたらくメカニズムを学ぶのが薬理学です。「おもしろかった」、「わかりやすかった」との感想がある一方で、「難しすぎた」という感想もありました。難しいと感じる方は、薬の標的分子をイメージして、薬がどのように作用しているのか、簡単な絵を描いてみると、すっと理解できることがありますので、トライしてみてください。講義は、できる限り明快に、そして、楽しく聞いていただけるように、今後もアップデートを続けていきます。本授業評価には、受講した92%の皆さんから回答をいただき、科目の満足度は4.0(5点満点)と高い評価をいただきました。

科目名：基礎医学特論

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：79 回収数：67 回収率：84.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.9	3.0	3.9	4.0	4.1

*評価に対するコメント

基礎医学特論担当教員

基礎医学特論は、基礎医学講座における各分野の研究内容について、担当講師がそれぞれ紹介するオムニバス形式の講義として実施しました。最新の研究成果を扱う内容であったため、理解が難しいのではないかと懸念していましたが、科目全体の満足度は4.1と、概ね良好な評価を得ることができました。研究内容を十分に理解することは容易ではないと思われませんが、多様な分野の講義に触れることで、受講者の知的好奇心を刺激する機会になればと考えています。

科目名：選択必修コース I 「生体構造機能蛋白・病態解析コース」

(医学科第 3 学年後期／選択必修)

履修者数：92 配付数：76 回収数：46 回収率：60.5%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.9	3.6	3.0	3.9	3.9	4.1

*評価に対するコメント

選択必修コース I 「生体構造機能蛋白・病態解析コース」担当教員

選択必修 I 「生体構造機能タンパク質・病態解析コース」は、タンパク質科学の基礎から応用までを、複数の教員によるオムニバス形式で学ぶ構成となっています。本年度は 92 名が受講し、授業評価には 46 名が回答してくれました。本科目の満足度は 4.1 (5 点満点) と高い評価をいただき、多くの皆さんが興味を持って聞いてくれたと思います。疾患の原因の多くはタンパク質の異常であり、新しい知見も次々と得られています。今後も、最新の知見を盛り込んだコースをめざします。

科目名：選択必修コース I 「救急・プライマリケアコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：16 配付数：16 回収数：14 回収率：87.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	4.3	3.2	4.0	4.3	4.3

*評価に対するコメント

選択必修コース I 「救急・プライマリケアコース」 担当教員

救急プライマリケアコースは、できるだけハンズオンや実習を取り入れた体験型の授業を心掛けています。授業評価は、事前予習がなくとも理解度や満足度が高かったと思います。一方、コンテンツすべてにレポートを課しており、試験日と近いため批判的な意見もありました。習熟度を評価する方法は工夫の余地があるかもしれません。今後も魅力的なコンテンツの提供に努めてまいります。

科目名：選択必修コースⅡ「臨床薬理学コース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：83 配付数：67 回収数：41 回収率：61.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.8	3.3	3.9	3.8	4.0

*評価に対するコメント

選択必修コースⅡ「臨床薬理学コース」担当教員

選択必修Ⅱ「臨床薬理学コース」は、各臨床科の教員によるオムニバス形式で進めています。本年度は83名が受講し、授業評価には41名が回答してくれました。本科目の満足度は4.0(5点満点)と高い評価をいただき、多くの皆さんが興味を持って聞いてくれたと思います。一方で、予習・復習はあまり実施されていなかったようでした。予習・復習に少し時間をかけるだけで理解度は全く変わりますので、これからの講義ではぜひ実践して下さい。今後も、最新の知見を盛り込んだコースをめざします。

科目名：選択必修コースⅡ「糖尿病：内分泌Up・Dateコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：25 配付数：18 回収数：16 回収率：88.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.6	3.0	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

選択必修コースⅡ「糖尿病：内分泌Up・Dateコース」担当教員

糖尿病・内分泌に関連した最先端医学知識を、基礎医学～臨床医学にかけて横断的・多角的視点から学習するコースである。先進的な内容も含む講義内容であったため、内容の理解・難易度についての評価点が3.6点・3.8点と課題が残るものの、全体の満足度は高く評価された。本コースが、受講者の将来の医学研究への礎となることを願う。

科目名：生体防御医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：110 配付数：105 回収数：66 回収率：62.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.9	3.4	3.9	4.0	4.2

*評価に対するコメント

生体防御医学担当教員

本講義についての評価は105名中66名(62.9%)から頂き、科目全体の評価は平均4.2、多くの回答者から普通(3)～非常によい(5)という評価を得た。本科目では、免疫・感染防御・造血の生理的機能を理解し、その病的状態と治療法について学べるよう構成されている。本講義では広範囲の内容を扱っているため、受講者が興味を持ち自ら学ぶきっかけを持てるようさらに工夫していきたい。

科目名：精神・神経病態医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：110 配付数：106 回収数：66 回収率：62.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.6	3.8	3.7	4.1

*評価に対するコメント

精神・神経病態医学担当教員

脳神経外科学講座が「精神・神経病態医学」のコーディネーターを務めさせて頂いております。精神・神経病態医学は神経系に関わる各種疾病の病態、診断そして治療法を学ぶために様々な各種関係講座や診療科が共同して開講しています。本講座の平均満足度が4.1と前年よりも0.1ポイント改善したことは指導教官の励みになります。また、本年は問3も前年の3.3から3.6と上昇し、学生の皆様の学習意欲が旺盛であることが伺えました。次年度もより良い講義が提供できるように工夫したく存じます。

科目名：感覚器病態医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：109 配付数：109 回収数：82 回収率：75.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.6	3.3	3.6	3.6	3.8

*評価に対するコメント

感覚器病態医学担当教員

授業評価へのご協力ありがとうございました。手術動画などの視覚的資料が理解の助けになったとのご意見をいただきました。一方で、試験や学習内容に関するご意見も踏まえ、今後は授業の要点をより明確に示し、理解しやすい授業運営に努めてまいります。

科目名：生殖発達医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：109 配付数：109 回収数：69 回収率：63.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.8	3.4	3.8	4.0	4.1

*評価に対するコメント

生殖発達医学担当教員

本講義についての評価は109名中69名(63.3%)から頂き、科目全体では評価平均点4.1で、多くの回答者から普通(3)～非常によい(5)という評価を得た。本科目では、ヒトの初期発生から子どもの発育・発達というダイナミックなプロセスを学び、その病的状態を内科的あるいは外科的視点から理解できよう構成されている。講義では広範囲の内容を扱っているため、受講者が興味を持ち自ら学ぶきっかけを持てるようさらに工夫していきたい。

科目名：臨床放射線学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：110 配付数：102 回収数：68 回収率：66.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.8	3.9	3.6	4.1	4.1	4.2

*評価に対するコメント

臨床放射線学担当教員

アンケート結果に関しては担当教員の間で情報を共有したいと思います。放射線科という内容の性質上、難しく感じる部分もあるかもしれませんが、今後もより良い講義を行いたいと考えています。今後の医師人生に有用な考え方を身に着けることが最も重要と思います。実習でも頑張ってください。

科目名：臨床検査学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：110 配付数：109 回収数：103 回収率：94.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.9	3.4	3.9	4.1	4.2

*評価に対するコメント

臨床検査学担当教員

理解度、目的の達成度、難易度、全体の満足度は3.9～4.2点と、昨年度と同様に高い評価となりました。一方、予習・復習については3.2～3.4点と低い状況が続いています。Campus-Xsを用いて事前配布する資料を工夫し、小テストを併用して、重要な点をよりわかりやすくしていきます。臨床検査医学は多くの分野に関わる科目にて、さらに充実した授業を目指します。

科目名：英語 I A

(看護学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：56 回収数：56 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
4.1	3.6	2.7	3.8	3.7	3.9

*評価に対するコメント

英語 I A 担当教員

英語力に個人差があるばかりでなく、英語を苦手と感じている学生もかなりの割合を占めていたため、少し不安でした。実際には、しっかり課題に取り組み、十分な成果を示してくれたと感じています。特に、確認テストの正答率が高く、事前学習をきちんとしているという印象が強く残っています。将来に期待しています。

科目名：英語 I B

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：55 回収数：55 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.4	3.9	2.4	4.0	4.1	4.2

*評価に対するコメント

英語 I B 担当教員

I was very impressed with the first-year nursing students during the 2025-2026 school year. This group of students showed a high level of enthusiasm toward learning English. All students performed well, completing their assignments on time, and many students produced particularly strong work. I hope the students will be able to use the English they have learned both professionally and when traveling. English will continue to be an essential skill in all areas of healthcare, and I encourage students to continue studying and using English in the future.

科目名：形態機能学

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.6	2.9	3.7	3.8	4.1

*評価に対するコメント

形態機能学担当教員

形態機能学は学生の講義に対する満足度を示す問6が4.1と昨年度より改善された。これについては昨年度の評価を鑑みて各教員がそれぞれの授業の改善を図るよう、努力をしていただけの結果と考える。しかし定期試験での得点が昨年度に比べ低下し、久しぶりに留年生を出す結果となった。すなわち学生の満足度が学習効果に必ずしも結びついていない状況と言える。次年度はこれを改善すべく更なる授業の改善を図りたいと考える。

科目名：生化学

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：61 配付数：60 回収数：60 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.7	3.2	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

生化学担当教員

今年度も、例年通り満足度は4を超えている。なお、昨年までは国家試験に合わせて試験問題は選択問題のみでしたが、今年の試験問題は、思考力や表現力を伸ばし、学生の理解度を詳細に把握するため、記述問題も含めるようにした。そのため、試験の平均点が例年より下がったものの、多くの学生が生化学の基礎を理解していることがより把握することができた。今後も、より良い講義になるように改善していきたい。

科目名：病理学総論

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：61 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.5	2.9	3.6	3.6	4.0

*評価に対するコメント

病理学総論担当教員

病理学総論は学生の満足度を示す問6が4点台となり、3点台だった昨年度より改善が見られた。昨年度はコーディネーター及び担当教員が初めて担当する年度だったため、不十分な講義となったと考えていたが、それらがある程度改善された結果と考え満足している。しかしながらまだまだ講義内容についても発展段階と考えている。次年度はさらに講義内容を発展させ学生の学習意欲を高めるような講義を実施していきたいと考えている。

科目名：看護学概論

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：57 回収数：56 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	4.0	3.0	3.8	4.0	4.2

*評価に対するコメント

看護学概論担当教員

満足度は4.2、目標達成が4.0であることで一定の評価が得られたと考えます。予習・復習について半数はある程度行っているようですが、さらに事前・事後学習に取り組めるような仕組みを提案したいと思います。前期試験と比較して後期試験はよくできていましたので、学習の仕方がみについてきたのではないのでしょうか？2年生になっても頑張りましょう。

科目名：人間生涯発達論

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：59 回収数：54 回収率：91.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.2	3.9	4.0	4.1

*評価に対するコメント

人間生涯発達論担当教員

本科目は、1年間を通して1単位を取得する構成となっています。授業はオムニバス形式で行っており、各領域の担当教員が、それぞれの専門とする発達段階や主題に基づいて講義を担当する点が特徴です。特に1年次生にとっては、さまざまな講義や演習を経験する中で、人間理解や健康観が1年間を通して段階的に深まっていくことも、本科目の魅力の一つとなっています。また、自由記載欄からは、生涯発達という視点についても興味を持ち、継続的に学び続けられた様子がうかがえました。来年度も引き続き、他の科目で得た知識との統合を意識しながら、人間の発達について理解を深められるような授業展開を心がけていきます。

科目名：地域看護学

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：61 配付数：60 回収数：60 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	4.1	3.1	4.0	4.2	4.2

*評価に対するコメント

地域看護学担当教員

本科目は、地域で活動する看護職の歴史的背景から現代の活動までのイメージ化を大切にしています。地域看護の分野として、病院における入退院支援や地域との連携、療養者・家族と関わる訪問看護、保健所や市町村・地域包括支援センター等の保健師活動、学校保健、産業保健など多岐にわたるインタビューを体験していただきました。それぞれの場における看護の対象と活動の特徴などの学びが得られましたね。インタビューは移動や費用負担を考慮し遠方はオンラインとし、学生の希望調査による配置調整で満足度も高かったと思います。今後も、色々なことに興味を持ち、学びを深めていただけたらと思います。

科目名：地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）

（看護学科第1学年通年／必修）

履修者数：61 配付数：61 回収数：53 回収率：86.9%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	4.1	2.9	4.1	4.2	4.2

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）担当教員

地域包括ケアに関する用語についてグループで調べた内容を発表した後、地域で活動している講師の講演を聴講し、理解を深めていた。また、各地区の地域特性把握をするためにグループで地域に出向き、担当項目について統合的に検証し発表することができていた。さらに、担当地区の把握に加え、他地区の発表や2年生との合同授業などでも積極的に質問する姿勢がみられ、理解を深めていた。地域活動を通して、学生の立場や将来の看護職として地域に貢献できることを考え行動するなど、主体的に学習に取り組んでいた。

科目名：病理学各論

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.7	2.8	3.8	3.8	4.1

*評価に対するコメント

病理学各論担当教員

病理学各論も総論と同様に講義の新体制になって2年目であったが、学生の満足度を示す問6が4.1と4点台を保つことができ、一定の評価が得られたものと考えている。しかしながら理解度を示す問2は3.7と3点台であり講義内容の改善がまだまだ必要な状況であると言える。新体制1年目の前年度より講義の進め方等の改善は見られていると考えるが、さらに講義内容を改善し学生の理解度・満足度を高める様、努力したい。

科目名：薬理学

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：56 回収率：96.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.4	2.8	3.5	3.2	3.7

*評価に対するコメント

薬理学担当教員

学生評価によると、「科目全体の難易度が適切ではなかった」と感じた学生が多かった。講義内容や配布資料は毎年見直しを行っているが、理解しやすいようにさらに改善していきたい。薬理学の理解には、生理学や生化学の基礎知識が不可欠であり、講義内容を十分に理解するためには、講義前の予習が重要である。また、講義後の復習は知識の定着に大きく寄与する。教科書の各章末にある Work を活用し、学んだ内容を確実に身につけてほしい。

科目名：臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）

（看護学科第2学年後期／必修）

履修者数：58 配付数：56 回収数：55 回収率：98.2%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.3	2.8	3.5	3.5	3.8

*評価に対するコメント

臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）担当教員

全体として一定の満足度を得ることができました。臨床病態治療学では、幅広い疾患や治療法を学ぶ必要があり、内容が多岐にわたる分、学生が主体的に学べる工夫が求められます。今後も、学生が興味を持ち、積極的に学習に取り組めるような講義づくりをさらに充実させていきたいと考えています。

科目名：保健統計

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：58 配付数：57 回収数：57 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.6	2.8	3.5	3.6	3.6

*評価に対するコメント

保健統計担当教員

保健統計はオムニバスで講義を行うため、学生の理解度を測ることが難しいところがあります。講義の満足度は、3.6と平均的ですが、復習として行っている内容については評価がいまいちですので、次回は学生の理解を深めるように工夫したいと思います。国家試験の過去問については、古い情報をそのまま使用できないものもあるのでできるだけ最新の情報に置き換えて出題するようにしていますので、気が付いたところがあれば連絡していただきたいと思います。

科目名：公衆衛生論

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：58 配付数：57 回収数：57 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.5	2.7	3.6	3.6	3.7

*評価に対するコメント

公衆衛生論担当教員

令和7年度の公衆衛生論の講義は、シラバスの計画に従って進めることができました。ただし講義の分量が多いため講義時間いっぱいまで行うことが多く、時には2-3分オーバーすることもありましたので、その点についてクレームもありましたが、学生の評価が比較的高かったため、講義内容については大きな問題はなかったと思います。評価にはありませんが、今回は不適切な試験問題を出題してしまい、学生にはご迷惑をおかけしてしまいました。次回以降気を付けたいと思います。

科目名：臨床心理学

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：58 配付数：57 回収数：50 回収率：87.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.7	2.8	3.7	4.0	4.1

*評価に対するコメント

臨床心理学担当教員

授業の難易度や満足度は例年通りに進められたかと思いますが、予習や復習の機会を十分に作ることができませんでした。臨床心理学の理論は対人援助職に共通する知識やスキルが多くあります。他の授業や実習の中にも、臨床心理学の知識がふと頭に浮かび、看護実践の中にそのエッセンスが取り入れられるような授業になるよう努めていきます。

科目名：看護フィジカルアセスメント

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：51 回収率：87.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.3	4.0	3.7	3.8	3.6	3.9

*評価に対するコメント

看護フィジカルアセスメント担当教員

授業評価では、予習の実施 4.3、科目理解 4.0 と高く、主体的な学習姿勢が示されました。一般目標の達成 (3.8) や満足度 (3.9) は概ね良好ですが、「どちらともいえない」の回答が約3割でした。看護におけるフィジカルアセスメントは、対象者に適した看護ケアを導くため、診査で情報を系統的に収集し看護判断を行うことが目的です。この達成には今後もさらなる学習の継続と知識の定着が必要です。理解が深まる講義・演習の工夫を重ね、支援します。

科目名：看護倫理

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：58 配付数：57 回収数：54 回収率：94.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.1	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

看護倫理担当教員

満足度は4.1, 達成度は3.8であり、一定の評価は得られたと考えます。予習・復習をしていない、という回答が複数名からあったので、単位の実質化のためにも事前・事後学習を促す講義内容に修正をしたいと思います。

科目名：地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）

（看護学科第2学年通年／必修）

履修者数：58 配付数：55 回収数：51 回収率：92.7%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.9	2.9	3.8	4.0	4.1

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）担当教員

授業評価の回答をありがとうございました。住民へのインタビュー、その発表など、学生の皆さんは大変意欲的に取り組んでくださったと思います。しかし、事前・事後学習に関する評価が低い状況にあります。今後は事前・事後学習への取り組みを強化し、学生の皆さんがインタビューなどの実践で得たことが知識となることを助けるように工夫していきたいと思っています。

科目名：高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）

（看護学科第2学年後期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.9	3.3	3.8	4.0	4.0

*評価に対するコメント

高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）担当教員

授業評価の回答をありがとうございました。事前・事後学習に関する評価が低いことについて、小テスト機能による予習、復習を19回実施しましたが学生の皆さんの日々の学習に浸透しなかったようです。今後は皆さんが予習復習に興味をもって取り組める工夫をしていきたいと思っております。

科目名：小児看護学

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.9	2.9	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

小児看護学担当教員

本科目では、講義内容の理解度や満足度は概ね良好であり、到達目標の達成に一定の成果が認められました。一方で、事前学習や復習の実施状況にはばらつきがみられました。これらより、講義中の問いかけや振り返りの機会を増やすなど、主体的な学習を促す工夫を行い、学習効果のさらなる向上を図りたいと考えています。

科目名：母性看護学

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：58 配付数：57 回収数：52 回収率：91.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.8	3.1	3.8	3.7	3.9

*評価に対するコメント

母性看護学担当教員

回収数 52 名、91.2%の回収率で信頼性が得られた評価と判断した。“全体として満足できる”が3.9で昨年より0.3ポイント減となったことから、次年度はより満足できる講義となるよう努力することとする。課題は、予習・復習を行う学生はmanabaでそれらの機会を促したが昨年度とほぼ変わらず3.2・3.1点であり、さらなる工夫を実施しより満足できる講義内容となるよう努力を継続する。

科目名：精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）

（看護学科第2学年後期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：55 回収率：94.8%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.9	3.0	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）担当教員

評価に関しては、一定の満足度が得られていました。昨年度の振り返りを踏まえ、知識が過度な詰め込みとならないよう配慮し、今年度は事例を通じた復習・整理が可能となるよう工夫しました。予習・復習に関する平均ポイントは大きな向上には至っていませんが、今年度の試験結果をみると、対象の個別性に着目した解答が多く認められました。これらのことから、事例を基盤として看護を考える学習方法が、学生の理解を深める一助になっていると考えられます。来年度も引き続き、授業内で事例から看護を考えられるような授業計画を立てていきたいと考えています。

科目名：疫学

(看護学科第3学年通年／必修)

履修者数：58 配付数：57 回収数：57 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.5	3.2	3.6	3.4	3.5

*評価に対するコメント

疫学担当教員

本講義は5名の教員によるオムニバス形式で実施した。学生評価では、講義の難易度(3.4)、全体の満足度(3.5)、目標の達成度(3.6)と、いずれも概ね中程度からやや良好な評価であった。予習(3.2)および復習(3.2)については高水準とは言えないものの、他項目と比較すると一定程度の学習行動は確保されていたと考えられる。一方で、講義が聞き取りにくい点や、試験対策に関する課題提示が遅い点についての指摘があり、講義運営上の課題として、次年度に向けて改善を検討する必要がある。また、講義中に学生からプライバシーへの配慮に欠ける発言がみられたとの指摘を受け、教員間で情報を共有し、再発防止に向けた対応を講じることを確認した。

科目名：地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）

（看護学科第3学年通年／必修）

履修者数：59 配付数：55 回収数：43 回収率：78.2%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	3.9	3.3	3.8	3.9	3.9

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）担当教員

科目の満足度は、一般目標の達成度が *3.8~3.9* と概ね良好であったと評価しています。特に、4年生との合同授業では、学年間交流を通じて地域包括ケアにおける看護師の役割理解が深まり、皆さん自身の行動目標を具体化することができていたと考えます。次年度も地域包括ケアに関する学びや課題を継承できるよう、今回の企画をさらにブラッシュアップしていきます。

科目名：看護研究

(看護学科第3学年通年／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0

*評価に対するコメント

看護研究担当教員

本講義は、前半に座学および図書館職員による文献検索演習を行い、後半では教員配属の下、個別指導により研究計画書の作成を進める構成としている。このような講義形態のため学生評価の解釈には一定の配慮を要するが、講義の難易度(3.9)、全体の満足度(4.0)、目標の達成度(3.9)に加え、予習(3.9)および復習(3.9)と、全項目で高い評価が得られた。これらの結果は、配属後における各教員の個別指導が学生の学習意欲や理解の深化に寄与していることを示唆していると考えられる。来年度は、講義と演習の連続性をさらに高めるとともに、指導内容の整理を図り、より効果的で効率的なカリキュラム運営を目指したい。

科目名：地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）

（看護学科第4学年通年／必修）

履修者数：60 配付数：57 回収数：35 回収率：61.4%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	4.1	3.0	3.9	4.2	4.0

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）担当教員

今年初めての試みとして、医学科4年と多職種連携合同演習を行いました。それに関する記載等はなかったのですが、感想は小テストで聞いていますので、次年度に反映させます。理解度4.2、満足度4.0であったことから、学生の皆さんに一定の評価をいただいたと判断します。回収率が6割と看護学科の科目としては低いことから、教室移動のないタイミングでの授業評価実施に努めたいと思います。

科目名：卒業研究

(看護学科第4学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：44 回収率：75.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	4.1	3.4	4.1	4.0	4.2

*評価に対するコメント

卒業研究担当教員

卒業研究発表会当日の配布で回収率 75.4%であったことにより、次年度も配布時期を継続する。設問「この科目は全体として満足できるか」の問いに対し 4.2 点、「科目全体の難易度の適切性」は 4.0 点、「科目の一般目標の達成」は 4.1 点で、科目の企画に対しては良好な評価と考える。自由記述に倫理審査の承認回答に時間がかかることへの改善希望があったため、看護学科として関係機関へ事情を確認したうえで、改善可能なのか検討していく。